

令和2年度 経営の概要

校長 榎尾 春海

1 地域と児童

今年度創立146年目を迎える伝統ある学校である。

大仙市の東部に位置し、地域の中央を県道角館六郷線が通っている。学区は、太田町の中心部より南西に位置する。太田東小学校区とは田沢疎水を境に接しており、太田北小学校区は本学区の北側に位置する。

保護者や地域の方々は、教育への関心が高く「わが地域の学校」として本校の教育活動には大変協力的である。子どもは、全体的に素朴で素直である。また、決められたことや指示されたことについては、最後までやり遂げようとする子どもたちである。一方で、人間関係が固定的であり、多様な考え方に対応する力が不足がちで、進んで自分の考えを表現したり、他と関わったりすることには消極的である。

そこで、日々の学習や教育活動を通して、子どもたちに自信をもたせ、よさをさらに伸ばしながら、笑顔あふれる学校づくりを推進したい。

2 目指す学校像（ミッション）

信頼される太田南小学校

【学力保障・成長保障】

地域とともにある太田南小学校

【大仙教育メソッドの充実】

3 学校教育目標

夢に向かって 本気でチャレンジ！
笑顔の花さく南っ子

夢に向かって

子どもたちにとっての夢は、「学級・個人の目標」「将来なりたい職業」「理想の人間像や生き方」など様々である。しかし、どんな夢であれ、「夢の実現」に向けて取り組むことは、「がんばってやり抜く力」や「向上心」、「チャレンジ精神」を鍛えることになる。

また、子どもは自分の「夢」を他の人に認められ応援されることによって、自分自身の存在感と自己肯定感を体得することができるであろう。

本気でチャレンジ！

学校を「楽しい」と感じる場所にするためには、本気で物事に取り組み、達成感や満足感を味わうことが必要であると考えます。楽しさは他人任せでは感じることはできません。今できる自分から一歩前に踏み出す勇気をもってチャレンジし、「本気で」取り組むことで、本当の「楽しさ」を味わうことができます。

笑顔の花さく南っ子

『花の里太田』に住む子どもたち、その表情は花のような笑顔で輝いてほしい。そのためには、相手を受け入れる心、相手を尊重する思いやりを育み、子どもが本来もっている明るさをありのままに表出できる環境を作っていくことが大切である。

本気で物事に取り組む心地よさを体感させながら、一人一人の子どもたちが生き生きと躍動し、笑顔の花がさく太田南小学校でありたい。

4 経営の重点

(1) 問いと関わりが生まれる授業づくり まなび

- ・ 学び合いの過程における自己決定（自己選択）の場面設定
- ・ 好奇心をくすぐり、学ぶ意欲を高める導入の工夫
- ・ 学習の成果を確かめ、学びをつなぐ振り返りの工夫

(2) 思いやりの心を育む教育活動の充実 こころ

- ・ 子どもの良さを発見し、共有し、さらに伸ばす手立てを実践する生徒指導
- ・ 縦割り掃除や集会活動における異学年交流の充実
- ・ 相手の気持ちを受け入れ、認め合う雰囲気醸成

(3) 最後までやりきる体験活動の充実 からだ

- ・ 土とふれあいながら地域への愛着心を育む体験の充実
- ・ 学校の環境を生かした意図的な体力づくりの実践
- ・ 食育を含む自己管理能力を伸ばす健康教育の充実

5 具体的施策

(1) キャリアステージに応じた指導力を高める研修の充実

- ① 自己目標の実現に向けた計画と実践及び評価の実施（秋田県教員育成指標の活用）
- ② 情報や資料、教材の共有化とその活用（業務改善の一つの手立てとして）
- ③ 小・中連携による学習指導の継続を意識した他校の研究会への積極的な参加
- ④ 学級経営を基盤とした生徒指導の機能を高める研修の実施

(2) 特別支援教育の充実と校内支援体制の強化

- ① 通常学級における配慮が必要な児童への柔軟な対応
- ② 個別の指導計画及び個別の支援計画を踏まえた全教職員による支援の実施
- ③ コーディネーターを窓口にした関係諸機関との積極的な連携
- ④ 業務改善による児童と向き合う時間の確保

(3) 家庭・地域等との連携と地域への貢献

- ① 誠意を持った迅速的確な保護者対応による信頼関係の構築
- ② 地域素材を活用した教育活動の推進と、学校報・ホームページ等での情報発信
- ③ 「大仙教育メソッド」による中学校区における特色ある取組の一層の推進
- ④ 学校評価の実施と、結果および改善策の公表